

## ❄️ 2015年実務者会議実施報告

会期：2015年7月30日(木)～31日(金)

会場：札幌全日空ホテル(札幌市)

参加者：6か国・16都市・44人

### (1) 会員都市：6か国・14都市・40人

長春、ハルビン、ジャムス、鷄西、チチハル、瀋陽(以上、中国)、マールドゥ(エストニア)、ロヴァニエミ(フィンランド)、松本、札幌(以上、日本)、華川、麟蹄、太白(以上、韓国)、アンカレッジ(アメリカ)

### (2) オブザーバー参加：2都市・4人

岩見沢市、千歳市



2015年札幌実務者会議

## 主な会議内容

### (1) 北極圏デザイン小委員会(フィンランド・ロヴァニエミ市)

2015年2月に新設された「北極圏デザイン小委員会」の事務局都市であるロヴァニエミ市(以下同市)から、活動計画の発表がありました。デザインを見え方や感じ方というふうに捉えるのではなく、「どうすればうまく行くか」という問題解決の観点から捉え、冬の都市が抱える課題の解決に同市が培ってきた「北極圏デザイン」を活用することを目的に活動していきます。



### (2) 環境保全に関する行動目標の設定

2014年1月の華川市長会議において、各会員都市が環境保全に関する行動目標を設定し、2016年札幌市長会議において結果報告を行うこととされました。今回の実務者会議では、各都市が設定した行動目標の発表が行われました。主な行動目標は以下のとおりです。

|         |   |
|---------|---|
| 長春市     | PM10濃度を15%削減、石炭消費を総エネルギー消費の65%未満に抑制(2017年まで)    |
| ジャムス市   | 集中暖房の普及率80%以上、緑地面積率42%以上(2017年末まで)              |
| 鷄西市     | 生態系保護目標率100%達成、都市部の飲料用水源の水質目標率100%達成            |
| 瀋陽市     | クリーン及び再生可能エネルギー活用量の毎年3%向上                       |
| ロヴァニエミ市 | 2016年までの各年において、エネルギー消費量を9%削減(2006年比)            |
| 松本市     | 太陽光発電設置住宅の割合を6%に、小中学校は100%達成(2015年度末まで)         |
| 札幌市     | 環境配慮活動の実践率を90%に、事業用分散型電源発電量を4.3億KWhに増加          |
| 華川郡     | 2つの地域を選定し、太陽光発電によるクリーンエネルギー推進事業を実施              |
| 麟蹄郡     | 風力発電550万KWh、水力発電250万KWhなどでエネルギー自給率7%達成(2016年まで) |
| 太白市     | 400世帯分の石綿セメント板の屋根を補修(2016年まで)                   |

### (3) 活性化事業の報告(韓国・華川郡)

華川郡が2011年から2014年にかけて行った「世界冬の都市市長会PRプロジェクト」について、最終報告がありました。プロジェクトは、「世界冬の都市広場」として華川郡が誇る冬のイベント「ヤマメ祭り」の期間に行われました。来場者は年々増加し、2014年には54万人が広場を訪れ、市長会の活動を大きくPRできました。



世界冬の都市広場

## ❄️ 実務者会議関連イベント

### (1) 世界冬の都市セミナー

7月30日、札幌市内中心部の道新プラザにおいて、会員都市の魅力札幌市民に発信するPRセミナーを開催しました。参加した市民は、実務者会議参加者によるプレゼンテーションに、興味深く耳を傾けていました。



世界冬の都市セミナー

### (2) 「環境広場さっぽろ2015」への出展

7月30日から8月2日まで、アクセスサッポロでの同イベントにブース出展し、市長会活動や会員都市の環境保全の取り組みに加え、札幌市が市長会議での議論を参考にした活用事例を紹介しました。



環境広場さっぽろ市長会ブース

## ❄️ 第18回市長会議開催都市について

2018年に開催予定の第18回世界冬の都市市長会議の開催都市が中国・瀋陽市に決定しました。瀋陽市は、1985年に市長会議の前身である第2回北方都市会議を開催した都市であり、30年以上の時を経て再び、新たな瀋陽市で市長会議が開催されることとなります。

瀋陽市は中国東北部の遼寧省の省都であり、東北地方における政治、経済、文化、公共交通、商業及び貿易の中心で、人口は約822万人を有しています。瀋陽市の歴史は古く、中国最後の統一王朝で



活気に満ちた現代の瀋陽と調和する近代建築



色鮮やかな春の瀋陽国際園芸エキスポ

ある清朝が置かれた地です。満州国時代の張氏帥府(ちょうしすいふ)を始め、多くの歴史的名所があり「中国近代史の縮図」と呼ばれています。現在の瀋陽市は堅固な産業基盤を持ち、市内各地で多種多様な産業が広がっています。中国東北部の金融の中心地でもあり、海外からも多くの企業が瀋陽市に企業展開しています。瀋陽市は季節ごとに様々なフェスティバルを開催しており、最も有名なのは春の「瀋陽国際園芸エキスポ」です。色鮮やかな花々が春の訪れを告げ、人々はその美しさに魅了されます。

## ❄️ 新規入会都市の紹介(マールドゥ市)

マールドゥ市は、人口約16,000人、面積22.7km<sup>2</sup>と小さい都市ですがエストニアにとって重要な湾岸都市であり、首都タリンから約15kmの場所に位置しています。街を東西に走る高速道路の南には、美しいマールドゥ湖が広がり、地元の人々は湖で泳いだり、釣りやボートを漕いだりして楽しめます。街は産業地区と居住地区に分けることができ、レジャーとライフスタイルの好ましい環境を作り出しています。市北部に位置するムーガ港は、エストニアで最も大きく深い貨物港です。エストニアを通過する貨物量の約90%がムーガ港を経由しています。



マールドゥの街並み

マールドゥは独自の伝統を築いており、フェスティバルやコンサート、会議、展示会など、様々な文化イベントが行われています。また、マールドゥ市は積極的に国際的な連携を図っています。22以上の姉妹都市があります。バルト都市協会及び世界冬の都市市長会の会員でもあります。こうした連携を通じ、マールドゥは更なる発展に向けた新たな道を模索しています。



民族衣装を身に纏ったフェスティバル